

宇治川水源は琵琶湖にして、つねに滔々とながれ、石山黒津を経て、山をめぐり巖に触れて宇治に落、淀川に入。

〔此間に鹿飛米かしなどいふ所あり〕

新 古      ものゝふのやそうぢ河のあじろ木にいざよふ波の行衛しらずも      人      丸

千 載      朝朗宇治の川霧絶ぐに顕れわたるせゝのあじろ木      定      頼

新 古      暮て行春の湊はしらねども霞におつるうちの柴舟      寂      蓮